

様式第1号（第2条関係）

許可申請書

年 月 日

南城市長 殿

住 所

申請者 氏 名

印

電 話

(法人にあっては、その主たる事務所の
所在地及び名称並びに代表者の氏名)

南城市風致地区内における建築等の規制に関する条例第3条第1項の規定により、関係書類を添えて、
次のとおり申請します。

行為地	地区名	南城東御廻り風致地区			
	所在				
	地目	(ア)田 (イ)畑 (ウ)宅地 (エ)山林 (オ)原野 (カ)池沼 (キ)その他 ()			
	現況	傾斜地	平坦地	建築物	工作物
		樹林地	伐採跡地	その他 ()	
	都市計画	用途地域 () 特定用途制限地域 (地区 型)			
風致地区 の種別	第1種風致地区 · 第4種風致地区				
行為の区分	(ア)建築物の (新築・改築・増築・移転) (イ)工作物の (新築・改築・増築・ 移転) (ウ)宅地の造成 (エ)土地の開墾 (オ)その他土地の形質の変更 (カ)木竹の伐採 (キ)土石類の採取 (ク)水面の (埋立て・干拓) (ケ)建築 物等の色彩の変更 (コ)屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積				
行為の期間	年 月 日から	年 月 日まで			
工事施工者	住 所				
	氏 名		電 話		
他の法令の規 定により必要な 許認可等	許認可等の名称	許認可等の 申請年月日	許認可等の行政 府	許認可等の年月日 及び番号	
※受付欄		※処理欄			

備考

- 1 この許可申請書には、設計説明書及び関係図書を添付してください。なお、変更の場合は、許可申請書を変更許可申請書として提出し、変更部分について変更前のものと変更後のものが対比できるように2段書きとし、変更前のものは黒書で下段に、変更後のものは朱書で上段にそれぞれ記入してください。また、添付図書（状況カラー写真を除く。）の変更部分についても、変更前のものは黒書で、変更後のものは朱書でそれぞれ記入してください。
- 2 該当の符号又は事項を○で囲んでください。
- 3 行為地の現況については、傾斜地と平坦地との別、建築物、工作物及び木竹の有無並びに樹林地、伐採跡地等の場合はその旨を記入してください。
- 4 「他の法令の規定により必要な許認可等」とは、宅地造成等規制法、都市計画法その他の法令による許可、認可等をいい、これらが必要な場合は、そのすべてについて記入してください。
- 5 ※の欄は、記入しないでください。
- 6 代理人により申請する場合は、委任状を添付してください。

様式第2号 (第2条関係)

設計説明書

1 建築物

行為の区分	行為の概要				※摘要
1 地上に設ける建築物 (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	申 請 部 分	申 請 以 外 の 部 分	合 計		
	敷 地 面 積				m ²
	建 築 面 積 [] m ²		m ²	[] m ²	
	建 べ い 率 %	$\left(\frac{\text{建築面積}}{\text{敷地面積}} \times 100 \right)$			
	延 べ 床 面 積 [] m ²		m ²	[] m ²	
	外壁の後退距離 (壁面最近線)	[] 道路 m	m	[] m	
		[] 隣地 m	m	[] m	
	平 均 地 盤 面 か ら の 高 さ	[] m	m	[] m	
	建 築 物 が 周 辺 の 地 面 と 接 す る 位 置 の 高 低 差	[] m	m	[] m	
	用 途	(ア)専用住宅 (イ)共同住宅 (戸) (ウ)その他 ()			
構 造	(ア)木造 (イ)鉄筋コンクリート造 (ウ)その他 ()				
	階建 棟				
材料の種別、仕上 げ方法及び色彩	屋根				
	外壁				
緑 地 面 積	m ²	内訳	自 然 の 緑 地		m ²
			人 工 の 緑 地		m ²
緑 地 率			%	$\left(\frac{\text{緑地面積}}{\text{敷地面積}} \times 100 \right)$	
植 栽 の 内 訳	植 栽 区 分	高 木	中 木	そ の 他	
	新 植	本	本		
	既 存	本	本		
	移 植	本	本		
	計	本	本		

2 地下に 設ける建 築物 (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	申 請 部 分	申請以外の部分	合 計	
	敷 地 面 積			m^2
	地下占用面積	m^2	m^2	m^2
	延 ベ 床 面 積	m^2	m^2	m^2
	用 途			
	構 造	(ア)鉄筋コンクリート造 (イ)その他 ()		
3 仮設の 建築物 (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	申 請 部 分	申請以外の部分	合 計	
	敷 地 面 積			m^2
	建 築 面 積	m^2	m^2	m^2
	延 ベ 床 面 積	m^2	m^2	m^2
	平均 地 盤 面 か ら の 高 さ	m	m	m
	用 途			
	構 造	(ア)木造 (イ)鉄筋コンクリート造 (ウ)その他 ()		
設 置 期 間	年 月 日から	年 月 日まで		
	建築物を除却した 場合の跡地の処理 方法			

備考

- 該当の番号又は符号を○で囲んでください。
- 行為の概要の欄の〔 〕は、従前の建築物の面積、距離、高さ及び高低差をそれぞれ記入してください。
- 色彩については、色名を記入し、日本塗料工業会の色見本帳の色番及びマンセル値も記入してください。
- 自然の緑地の面積には、水面部分の面積も含めてください。
- 建築物を除却した場合の跡地の処理方法については、埋戻し、植栽、張芝、種子吹付け等の事項を具体的に記入してください。
- 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものとが対比できるように2段書きとし、変更前のものは黒書で下段に、変更後のものは朱書で上段にそれぞれ記入してください。
- ※の欄には、記入しないでください。

2 工作物

行為の区分	行為の概要				※摘要	
1 地上に設ける工作物 (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	工作物の種類					
	敷地面積		m ²			
	用途					
	構造		(ア)木造 (イ)鉄骨造 (ウ)石造 (エ)ブロック造 (オ)鉄筋コンクリート造 (カ)その他 ()			
			申請部分	申請以外の部分	合計	
	規模	水平投影面積	[] m ²	m ²	[] m ²	
		平均地盤面からの高さ	[] m	m	[] m	
		その他	[]		[]	
	外部の材料の種別、仕上げ方法及び色彩					
	2 地下に設ける工作物 (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	工作物の種類				
用途						
構造		(ア)鉄筋コンクリート造 (イ)その他 ()				
規模		水平投影面積	m ²	m ²	m ²	
		その他				
3 仮設の工作物 (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	工作物の種類					
	用途					
	構造		(ア)木造 (イ)鉄骨造 (ウ)その他 ()			
	規模	水平投影面積	m ²	m ²	m ²	
		平均地盤面からの高さ	m	m	m	
		その他				
	設置期間		年 月 日から 年 月 日まで			
	工作物を除却した場合の跡地の処理方法					

備考

- 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。
- 2 行為の概要の欄の〔 〕は、従前の工作物の面積、高さ等をそれぞれ記入してください。
- 3 敷地面積は、当該行為が建築物の敷地内で行われるものである場合は建築物の敷地面積を記入し、当該行為が建築物の敷地外で行われるもので敷地面積を算定しがたい場合は記入する必要はありません。
- 4 水平投影面積は、すべての工作物について記入してください。なお、工作物が2以上の場合には、個々の面積と合計面積を記入してください。
- 5 規模のうちその他については、長さ、幅員、面積、容積等を記入してください。
- 6 色彩については、色名を記入し、日本塗料工業会の色見本帳の色番及びマンセル値も記入してください。
- 7 工作物を除却した場合の跡地の処理方法については、埋戻し、植栽、張芝、種子吹付け等の事項を具体的に記入してください。
- 8 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものとが対比できるように2段書きとし、変更前のものは黒書で下段に、変更後のものは朱書で上段にそれぞれ記入してください。
- 9 ※の欄は、記入しないでください。

3 宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更、土石の類の採取、水面の埋立て又は干拓

行為の区分	行為の概要				※摘要		
1 宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更	行為場所	(ア)建築物の敷地内 (イ)建築物の敷地外	行為面積	m ²			
	隣接地の現況	林地・伐採跡地・草生地・その他()					
		建築物・工作物					
	跡地の処理方法						
	生ずるのり面の最高の高さ						
	移動土量	切土	m ²	客土	m ²		
		盛土	m ²	その他()	m ²		
	緑地面積	m ²	内訳	自然の緑地	m ²		
				人工の緑地	m ²		
	緑地率	% $\left(\frac{\text{緑地面積}}{\text{敷地面積}} \times 100 \right)$					
2 土石の類の採取	植栽の内訳	植栽区分	高木	中木	その他		
		新植	本	本			
		既存	本	本			
		移植	本	本			
		計	本	本			
3 水面の埋立て又は干拓	採取区域面積	m ²	採取量	m ²			
	採取土石類の種類						
	採取方法	(ア)横抗堀 (イ)縦抗堀 (ウ)斜抗堀 (エ)その他()					
	運搬方法						
	跡地の処理方法						

備考

- 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。ただし、行為の区分の欄は、2以上の行為を併せて行う場合は、それぞれについて記入してください。
- 2 隣接地の現況については、林地、伐採跡地、草生地等の別及び木竹、建築物、工作物の有無を記入してください。
- 3 跡地の処理方法については、裸地、砂利舗装、埋戻し等及びのり面の芝、コンクリートブロック擁壁、放置等について具体的に記入してください。
- 4 移動土量のうちその他については、堀削、搬出等を具体的に記入してください。
- 5 採取方法のうち(エ)その他については、採取方法を具体的に記入してください。
- 6 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものとが対比できるように2段書きとし、変更前のものは黒書で下段に、変更後のものは朱書で上段にそれぞれ記入してください。
- 7 ※の欄は、記入しないでください。

4 木竹の伐採

行為の区分	行為の概要				※摘要
1 森林地 内の伐採	伐採の目的				
	伐採区域面積				
	伐採区域の林相	(ア)針葉樹林 (イ)広葉樹林 (ウ)針広混交樹林 (エ)竹林			
	疎密度				
	伐採区域の林齡 又は林齡範囲				
	伐採量				
	伐採主要樹種				
	伐採方法	(ア)皆伐 (イ)抾伐			
	伐採後の跡地の 処理方法	植栽・放置・その他()			
2 森林地 外の 伐採		隣接地の現況			
(1) 集団をなす 木竹の伐採	伐採の目的				
	伐採区域面積				
	伐採区域の 主要樹種				
	伐採区域の樹齡 又は樹齡範囲				
	伐採量	本			
	伐採主要樹種				
	伐採方法	(ア)皆伐 (イ)抾伐 (抾伐率 %)			
	伐採後の跡地の 処理方法				
	隣接地の現況				
(2) 独立 木竹 の 伐採	伐採の目的				
	樹種名	樹齡	樹高	胸高直径	本数
		約年	m	m	本
		約年	m	m	本
		約年	m	m	本

備考

- 1 該当の番号又は符号を○で囲んでください。
- 2 疎密度は、樹冠投影面積の 10 分比で表してください。
- 3 伐採後の跡地の処理方法については、植栽、放置等を記入してください。
- 4 隣接地の現況については、土地の状況並びに木竹、建築物、工作物等の有無及びその種類等を記入してください。
- 5 「抾伐率」とは、伐採区域における総材積に対する抾伐量をいう。
- 6 「胸高直径」とは、1.3 メートルの地上高の幹直径をいい、双幹以上のものは、各幹直径の合計 70 パーセントを採り、1.3 メートルのところが枝の分れ目であるときは、すぐ下部の寸法を採用してください。
- 7 変更の場合は、変更部分について変更前のものと変更後のものとが対比できるように 2 段書きとし、変更前のものは黒書で下段に、変更後のものは朱書で上段にそれぞれ記入してください。
- 8 ※の欄は記入しないでください。

5 建築物等の色彩の変更

行為の区分	行為の概要		※摘要
建築物等の色彩の変更	色彩の変更を行う建築物等の用途		
	色彩の変更を行う部分		
	現在の色彩		
	変更後の色彩		
	色彩の変更を行う面積		
	色彩の変更に用いる材料		

備考

- 1 色彩については、色名を記入し、日本塗料工業会の色見本帳の色番及びマンセル値も記入してください。
- 2 色彩の変更に用いる材料については、具体的に記入してください。
- 3 ※の欄は記入しないでください。

6 屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積

行為の区分	行為の概要		※摘要
屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積	堆積物の種類		
	敷地面積		m ²
	堆積区域面積		m ²
	堆積量		
	堆積によって生ずる最高の高さ		m
	隣接地の現況		
	堆積後の処理方法		

備考

- 堆積物の種類については、具体的に記入してください。
- 隣接地の現況については、林地、伐採跡地、草生地等の別及び木竹、建築物、工作物の有無を記入してください。
- 堆積後の処理方法については、種子吹付、のり面の芝、放置等について具体的に記入してください。
- ※の欄は記入しないでください。

様式第3号（第3条関係）

許可書

第 年 月 日
号

申請者 住 所
氏 名

南城市長

印

年 月 日付けで申請のあった風致地区内建築行為等については、南城市風致地区内における建築等の規制に関する条例施行規則第3条の規定により、次のとおり許可書を交付する。

行 為 地	
行 為 の 区 分	
許 可 の 条 件	
そ の 他	

様式第4号 (第4条関係)

住所氏名変更届

年 月 日

南城市長 殿

住 所

届出者 氏 名

印

電 話

(法人にあっては、その主たる事務所の
所在地及び名称並びに代表者の氏名)

南城市風致地区内における建築等の規制に関する条例施行規則第4条第1号の規定により、次のとおり届け出ます。

建築主等の住所 及び氏名	新	
	旧	
工事施工者の 住所及び氏名	新	
	旧	
許 可 年 月 日	年 月 日	
許 可 番 号	第 号	
変 更 の 理 由		

様式第5号（第4条関係）

届出書

年 月 日

南城市長 殿

住 所

届出者 氏 名

印

電 話

（法人にあっては、その主たる事務所の
所在地及び名称並びに代表者の氏名）

風致地区内の行為を（完了・中止）したので、南城市風致地区内における建築等の規制に関する条例施行規則第4条第2号の規定により、次のとおり届け出ます。

許 可 年 月 日	年 月 日
許 可 番 号	第 号
完 了 行為 年月日 中 止	年 月 日
行 為 中 止 の 理 由	

備考

- 1 完了、中止のうち該当のものを○で囲んでください。
- 2 行為の完了の届出の場合は、完了後の状況カラー写真を添付してください。

様式第6号（第5条関係）

風致地区内行為許可標識	
許可年月日	年月日
許可番号	第号
行為者の住所及び氏名	
許可を受けた行為の内容	
許可の条件	
行為施工期間	年月日から年月日まで

備考

- 1 許可標識は、縦30センチメートル以上及び横50センチメートル以上の大さにすること。
- 2 「行為者の住所及び氏名」欄には、法人にあっては主たる事務所の所在地及び名称並びに代表者の氏名を記載すること。

様式第7号（第6条関係）

協議書

年 月 日

南城市長 殿

住 所

協議者 氏 名

印

電 話

南城市風致地区内における建築等の規制に関する条例第3条第3項の規定により、関係書類を添えて、次のとおり協議します。

行 為 地	地 区 名	南城東御廻り風致地区							
	所 在								
	地 目	(ア)田 (イ)畑 (ウ)宅地 (エ)山林 (オ)原野 (カ)池沼 (キ)その他 ()							
	現 況	傾斜地	・	平坦地	建築物	・	工作物	・	木竹
		樹林地	・	伐採跡地	・	その他	()		
	都市計画	用途地域 () 特定用途制限地域 ()			地区	型			
風致地区 の 種 別	第1種風致地区			・	第4種風致地区				
行為の区分	(ア)建築物の (新築・改築・増築・移転) (イ)工作物の (新築・改築・増築・ 移転) (ウ)宅地の造成 (エ)土地の開墾 (オ)その他土地の形質の変更 (カ)木竹の伐採 (キ)土石類の採取 (ク)水面の (埋立て・干拓) (ケ)建築 物等の色彩の変更 (コ)屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積								
行為の期間	年	月	日	から	年	月	日	まで	
工事施工者	住 所								
	氏 名			電 話					
他の法令の規 定により必要な 許認可等	許認可等の名称	許認可等の 申請年月日		許認可等の行政庁		許認可等の年月日 及び番号			
※受付欄			※処理欄						

備考

- この協議書には、設計説明書及び関係図書を添付してください。なお、変更の場合は、協議書を変更協議書として提出し、変更部分について変更前のものと変更後のものが対比できるように2段書きとし、変更前のものは黒書で下段に、変更後のものは朱書で上段にそれぞれ記入してください。また、添付図書（状況カラー写真を除く。）の変更部分についても、変更前のものは黒書で、変更後のものは朱書でそれぞれ記入してください。
- 該当の符号又は事項を○で囲んでください。

- 3 行為地の現況については、傾斜地と平坦地との別、建築物、工作物及び木竹の有無並びに樹林地、伐採跡地等の場合はその旨を記入してください。
- 4 「他の法令の規定により必要な許認可等」とは、宅地造成等規制法、都市計画法その他の法令による許可、認可等をいい、これらが必要な場合は、そのすべてについて記入してください。
- 5 ※の欄は、記入しないでください。
- 6 代理人により協議する場合は、委任状を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

通知書

年 月 日

南城市長 殿

住 所

通知者 氏 名

印

電 話

(法人にあっては、その主たる事務所の
所在地及び名称並びに代表者の氏名)

南城市風致地区内における建築等の規制に関する条例第4条の規定により、関係書類を添えて、次のとおり通知します。

行 為 地	地 区 名	南城東御廻り風致地区							
	所 在								
	地 目	(ア)田 (イ)畑 (ウ)宅地 (エ)山林 (オ)原野 (カ)池沼 (キ)その他 ()							
	現 況	傾斜地	・	平坦地	建築物	・	工作物	・	木竹
		樹林地	・	伐採跡地	・	その他	()		
	都市計画	用途地域 () 特定用途制限地域 ()			地 区	型			
風致地区 の 種 別	第1種風致地区			・	第4種風致地区				
行為の区分	(ア)建築物の (新築・改築・増築・移転) (イ)工作物の (新築・改築・増築・ 移転) (ウ)宅地の造成 (エ)土地の開墾 (オ)その他土地の形質の変更 (カ)木竹の伐採 (キ)土石類の採取 (ク)水面の (埋立て・干拓) (ケ)建築 物等の色彩の変更 (コ)屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積								
行為の期間	年	月	日	から	年	月	日	まで	
工事施工者	住 所								
	氏 名			電 話					
他の法令の規 定により必要な 許認可等	許認可等の名称		許認可等の 申請年月日	許認可等の行政 府		許認可等の年月日 及び番号			
※受付欄			※処理欄						

備考

- この通知書には、設計説明書及び関係図書を添付してください。なお、変更の場合は、通知書を変更通知書として提出し、変更部分について変更前のものと変更後のものが対比できるように2段書きとし、変更前のものは黒書で下段に、変更後のものは朱書で上段にそれぞれ記入してください。また、添付図書（状況カラー写真を除く。）の変更部分についても、変更前のものは黒書で、変更後のものは朱書でそれぞれ記入してください。
- 該当の符号又は事項を○で囲んでください。
- 行為地の現況については、傾斜地と平坦地との別、建築物、工作物及び木竹の有無並びに樹林地、伐採跡地等の場合はその旨を記入してください。
- 「他の法令の規定により必要な許認可等」とは、宅地造成等規制法、都市計画法その他の法令による許可、認可等をいい、これらが必要な場合は、そのすべてについて記入してください。
- ※の欄は、記入しないでください。
- 代理人により通知する場合は、委任状を添付してください。

様式第9号（第9条関係）

(表)	
立入検査身分証明書	
所 属	第 号
氏 名	
上記の者は、南城市風致地区内における建築等の規制に関する条例第7条第1項の規定により、風致地区内の土地若しくは物件又は工事現場に立ち入ることができる者であることを証明する。	
年 月 日	交付
南城市長	印

(裏)
南城市風致地区内における建築等の規制に関する条例（抜粋）
<p>（立入検査）</p> <p>第7条 市長又はその命じた者若しくは委任した者は、前条の規定による権限を行うため必要がある場合においては、風致地区内の土地に立ち入り、当該土地若しくは当該土地にある物件又は当該土地において行われている工事の状況を検査することができる。</p> <p>2 前項の規定により他人の土地に立ち入ろうとする者は、その身分を示す証明書を携帯しなければならない。</p> <p>3 前項に規定する証明書は、関係人の請求があったときは、これを提示しなければならない。</p> <p>4 第1項の規定による立入検査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解してはならない。</p>

備考 用紙の大きさは、縦5.3センチメートル、横8.5センチメートル以内とする。